

## 平成28年度（第3回）二宮町社会教育委員会議 会議録

日 時：平成28年10月5日（水）13時30分より

場 所：二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1

出席者：（社会教育委員） 野村幸雄委員長、橘川昭夫副委員長、江見千秋委員、  
久保田秀実委員、関口金由紀委員、三宅栄子委員、  
目黒美砂緒委員

（事務局） 府川教育長、鐘ヶ江教育部長、小嶋生涯学習・スポーツ班長、  
丹羽図書館班長、武井副主幹、佐藤主事

傍聴者なし

資料

- ・会議次第
- ・平成28年度社会教育事業報告（平成28年5月1日～9月13日）
- ・社会教育関係団体の補助金について
- ・平成28年度放課後子ども教室事業報告（6月～9月）
- ・二宮町放課後子ども教室サポーターマニュアル 平成28年度
- ・県社会教育委員連絡協議会予定

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議題

#### （1）平成28年度二宮町社会教育事業報告について（5月1日～9月13日）

※事務局より資料に基づいて説明。

（委 員）にのみや町民大学や子どもチャレンジ教室の参加人数が少ない。それに比べて図書館のわらべうたなどの事業は定員をオーバーしている。図書館ではどのような応募・周知方法しているのか。

（事務局）広報にのみやや Twitter、facebook、ホームページ、町内の掲示板でお知らせしている。例えば、わらべうたは年度当初に年間登録という形で登録をしてもらい、年間を通しての参加となっている。通常のおはなし会は、事前申し込みはしていないので、自由に来てもらっている。

（委 員）広報が一本化したので、その影響で記事が埋もれてしまい見にくくなって、その影響が出ているのではないのかという意見がでていいる。今後の状況をみていきたい。

（事務局）生涯学習ガイドという枠で掲載となっているが、確かに今までよりも紙面がぎゅっとなっている状況はある。

（委 員）スポーツの事業も最初のころは人が集まらなかった。1回きりとなってしまい

その後の受け皿がない。テニス教室の場合は、受け皿を作るようにし、テニス協会にお願いしてその後の受け皿になってもらっている。受け皿があることで人が集まるということはあると思う。

(委員長) 切り絵の講座の参加者は9人なので、サークルができるのでは。

(委員) 学級講座部会としては、サークルにつながればと考えていて、サークル化の推進はしている。

(委員) 二宮おはなし会では、毎回、町内掲示版にポスターを掲示している。広報紙が厚くなったので、最後まで見て申し込むというのがなかなか難しくなっている。

(委員長) ふたみ記念館で行った絵を書くイベントはいい。

(事務局) 今回初めての試みで、子どもが対象のため、騒がしくなって他のお客さんに迷惑をかけないように休館日に試行的に行った。このぐらいなら開館日にやっても問題ないのかなという状況ではあったので、今後検討をしていく。

(委員) ふたみ記念館に足を運んでもらうということだけでも。

(事務局) ボランティアさんとの相談の上ではあるが、他の美術館の方に話を聞いたところ、事前に周知をしていれば、ワークショップなどをすることもありということだった。ふたみ記念館で何かコンスタントにやっているということが、より多くの人に足を運んでもらう1つとして効果的なのかなと思うので、検討していきたいと思う。

(委員) 三町のスポーツ推進委員の交流会が二宮の番ということだが、何かスポーツの種目が決まっているのか。

(事務局) 中井町と大磯町と二宮町のスポーツ推進委員の交流会ということで、1年に1回持ち回りということでやっている。今回は中井町が主催でパークゴルフをやった。二宮は2年前にバウンズボールをやった。平成29年度にあたっては、今のところはバウンズボールかソフトバレーを考えている。大磯町はユニカール、中井町はパークゴルフなどがあるが、二宮町はこれというスポーツがないので、過去にやった競技となる。

(教育長) 今の時代に対応したスポーツ、ニュースポーツを昔に拘らず入れていくことも必要かなと思う。例えば、高齢化でダンスは無理だけど、パークゴルフはしたいということで人気がある。二宮町に会場がないので、東大跡地を会場にという意見があった。

(事務局) 近隣市町村にはパークゴルフの会場があるという状況で、確かにパークゴルフの人気は、これからは高い。需要はある。

(委員) 現在グラウンドになっている東大跡地でのパークゴルフの可能性は。

(事務局) 芝をひけば可能である。コースが出来れば、手入れは楽で管理費はあまりかからないということである。

(委員) 高齢になると、車で遠くにいくことはできなくなるので、地元であればいい。

(委員) 子ども野外研修に見学にいき、教え子のシニアリーダーズクラブの子がいた。シニアが海岸清掃などを行っていることを知らなかった。併せて、もし自分たちがやりたい活動があれば、それを指導者に伝えた方がいいと、そのことが町の

方に伝わるかもしれないという話しをした。

(教育長) 子どもたちにやりたいことを言ってもらおうということはいいい手法だなと思う。

## (2) 社会教育関係団体補助金について

※事務局より資料に基づいて説明。

特に意見なし

## (3) 放課後子ども教室について

※事務局より資料に基づいて説明。

(教育長) 今後の長いスパンでの見通しとしては、コミュニティスクール、総合型地域スポーツクラブ、二宮子ども自然塾などの団体に委託することを教育委員会としては考えている。その主旨としてはコミュニティスクールを二宮町で計画をしていて、地域の方々には、地域学校協働本部のようなものを組織してもらって、その中で放課後子ども教室担当のグループ、これまでのボランティアの方、民生委員さんなどやそれ以外の方も含めて、出来るだけ多くの地域の方々で放課後の子どもの遊びの面倒をみてもらうという大きな方向性をもっている。今の放課後子ども教室の状況では、この人数となるが、地域全体で見ってもらうことになる、もっと大人数が見込まれると期待している。人数が少ないから、平成 26 年度から始まった事業を途中でなくすということではなく、今の状況に関わらず、発展していきたいと考えているので、ご理解いただきたい。一色小は平成 30 年度に指定し、平成 31 年度から山西小・二宮小で組織作りを始め、平成 32 年度には全小学校で設立になるスケジュールを組んでいる。

(委員) 地域で子どもを育てていくということは理想である。それを継続していくことが難しい。ボランティアだけでは長く続かない。行政とも連携をして、ある程度の有償の部分がないと続けていくのは難しいというのはある。気持ちはあってもボランティアという立場で様々な状況がそれぞれ生じてくるので、それをまとめて同じようなペースを続けていくことは活動していく上で難しい。

(委員) アクティブクラブで放課後子ども教室サポーターに協力しているが、会員に若い人があまり入ってこないなかで、高齢者が 2 時間立ちっぱなしというのは体力的に大変という部分がある。また、活動の中で、交差点で高校生に自転車指導をしているが、事故に遭遇した場合、指導の有無などで責任問題になるのが怖いという話もある。いろいろな活動がボランティア頼みになっていると難しい部分がある。

(委員) 二宮町と神奈川大学の協定という話があったが、大学生がボランティアに参加してくれればいいなと思う。若い力で協力してもらえれば。

## (4) その他

・会議日程調整

※事務局により資料に基づいて説明

- ・委員出張関係
- ※委員より報告

#### 4. 閉会

15時20分閉会